

皆様お元気ですか？お陰様で、10月10日は、創立30周年記念式典と祝賀会を無事終えることができました。特に、今回の記念行事はPTA 役員を中心に、様々な形で保護者の皆様にご協力をいただきました。改めて感謝させていただきます。

当日は栄区長をはじめ、横浜市教育委員会特別支援教育課長、養護教育総合センター相談課長、地域の町内会長、近隣の小学校・中学校長、関係施設長、歴代の校長・PTA 会長、特別支援学校長、横浜金沢マリンライオンズクラブその他関係者の方々に来賓としてご参加いただき、皆様から「とても素晴らしい記念式でした。」「本郷は、子どもが元気で笑顔が最高ですね。」「本郷の温かさを感じる記念式典でした。」「式典、祝賀会を通して、子どもの視点をとても強く感じることができました。一生懸命で温かな教職員や保護者に包まれて、本郷の子どもたちは幸せですね。」「様々な形で保護者の方々の活躍が光っていますね。」等々の感想をいただきました。

今回は手作り、本郷特別支援学校らしさを大切に、みんなの喜びと感謝の気持ちを一つに、「みんなでおめでとう みんなにありがとう」のスローガンの基に、児童生徒、保護者、教職員の気持ちが一つになって成功させることができました。これは、本校を愛する、全ての人が30年間に創り上げた伝統のたまものであると、私は校長として、そのことが大変嬉しく、また誇りに思えます。

そして、この伝統を大事にしなが、さらに新しい歴史を、児童生徒を主役としなが、保護者と教職員とが心を重ねなが創っていきたいと思います。私は、新しい学校づくりのキーワードは「優しさ」だと思います。

主役である児童生徒はもちろのこと。保護者及び教職員にとっても、外部の人にとっても優しさが実感できる学校は、学校教育目標にある「一人ひとりの生きる力を育てる」の具現化につながると思います。

そのためにも、お互いが子どもを含めた相手の立場に立って、相手の気持ちを理解しようと努力することが大切だと思います。

さあ、今日から後期が始まりました。前期の6ヶ月間の学び、気づきを大切にしてい、保護者と教職員がよりコミュニケーションを深めなが、子どもたちの成長の手助けをしていきたいと思います。

子どもたちのこと、学校のこと、どんなことでも、お気づきのこと、ご心配なこと、ご相談ごとは、担任やスタッフの教職員までお申し出ください、ご一緒に、より良い本郷特別支援学校を創っていきたいと思います。